

フクビアルミ製見切

アルミクリアランス見切

施工説明書

このたびは、フクビ「アルミクリアランス見切」をご採用いただきまして有難うございました。
本書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

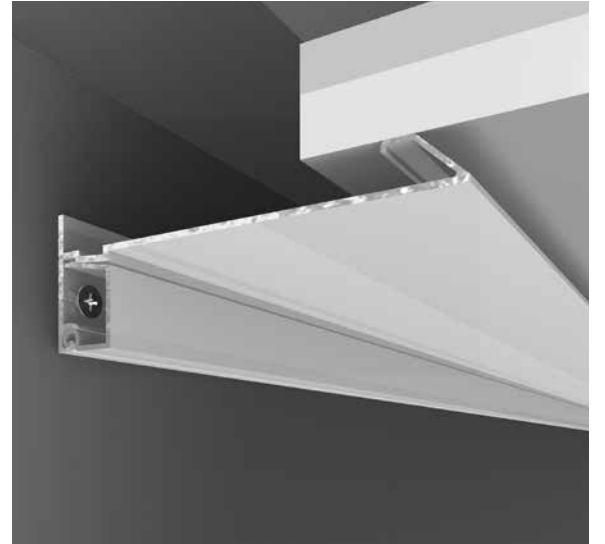
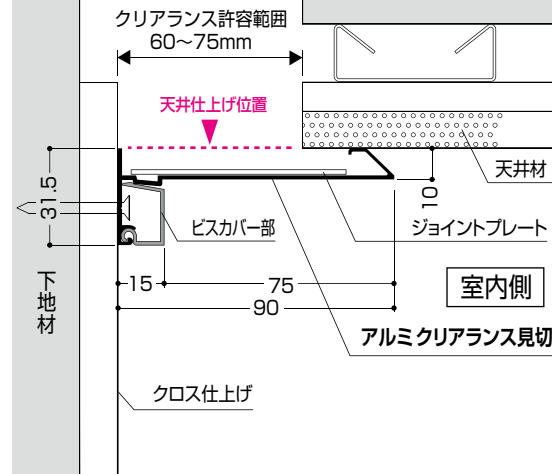
■同梱部材一覧

- アルミクリアランス見切 本体 12本入
- 施工説明書 1部
- ジョイントプレート(現場調達・加工)
※現場端材やホームセンターにて調達・加工してください。
アルミ板材: 70×50×厚さ2mm
両面テープ: アクリル系粘着剤 巾20mm
- ビスは下地に届く長さで、現場調達ください。

■役物部材(別売)

- 入隅セット ※
- 出隅セット ※
- ジョイントプレート(現場調達・加工)
※役物各2個入り
- エンドキャップ 左 右
左右各1枚入

■納まり図



■施工手順

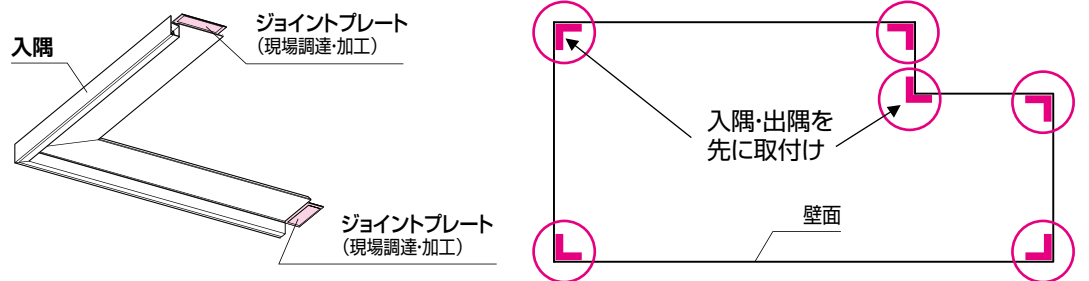
手順1: 取付け位置の確認 チェック! OK

後付け施工の場合は、納まり図のように、天井仕上げ位置と同じレベルに出入隅役物・見切本体を取付けます。
先付け施工の場合は、天井仕上げ位置より41mm下側に墨出しし、開いたビスカバーの下端を合わせてください。

手順2: 出入隅の取付け チェック! OK

入隅・出隅を先に取付けてください。(右図の○赤丸印の箇所)

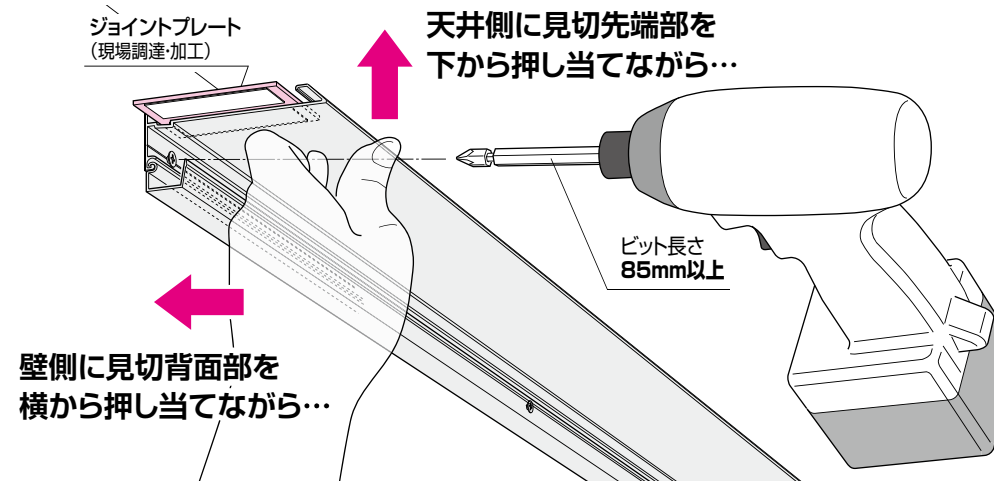
役物部材(別売)にはあらかじめジョイントプレート(現場調達・加工)をセットしてください。



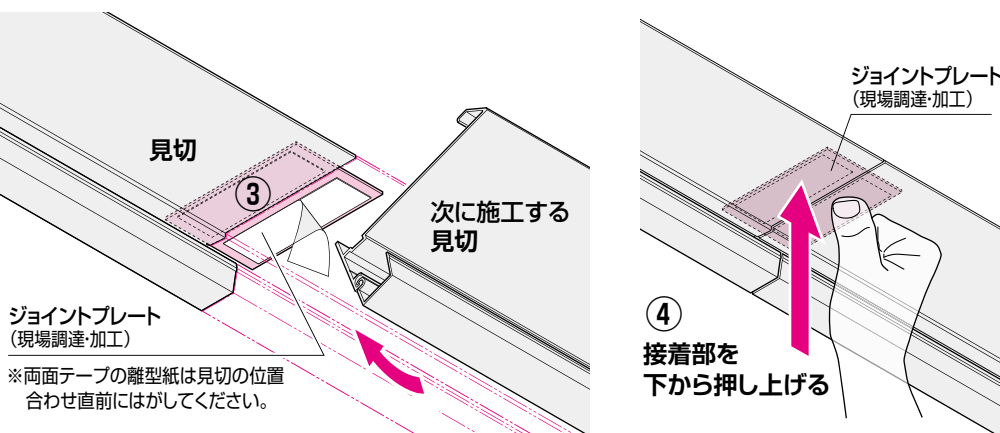
手順3: 見切本体の取付け チェック! OK

⚠注意 ●見切を切断する際は、見切本体とビスカバー部の長さをそろえるため、養生テープなどで動かないよう固定して、同時にカットするようにしてください。

- ①半掛かりになっているビスカバー部を開いた状態で取付けます。
- ②下地のある位置を確認し、**ビス溝に沿って**ビス留めします。(455mmピッチ以下)



- ③見切本体の片側端部にジョイントプレート(現場調達・加工)を両面テープ(片側)にて取付けます。
- ④次に施工する見切を位置合わせした上で、両面テープ部を押し上げジョイントプレートに圧着します。



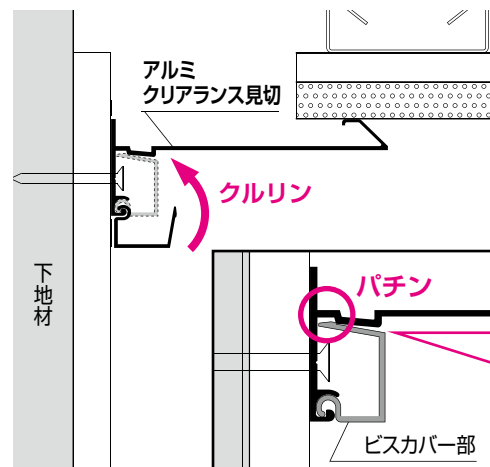
⚠注意 ●電動ドライバーは、ビット長さ**85mm以上**(110mm推奨)を使ってください。短いビットを使った場合、見付けが下がる恐れがあります。
●タッピングビスを使用する場合は、下地までの下穴をあけてください。

手順4: ビスカバー部のはめ込み・施工完了 チェック! OK

端から順にビスカバー部を回転させて、パチンと音がするまで確実にはめて施工完了します。

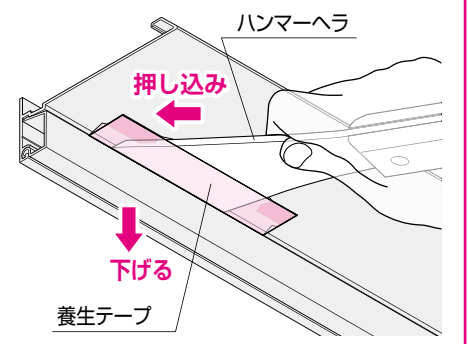
⚠注意

●下地の不陸による隙間(5mm以内)、ジョイント部にできた隙間は、コークボンドを使用して隙間を埋めて仕上げてください。



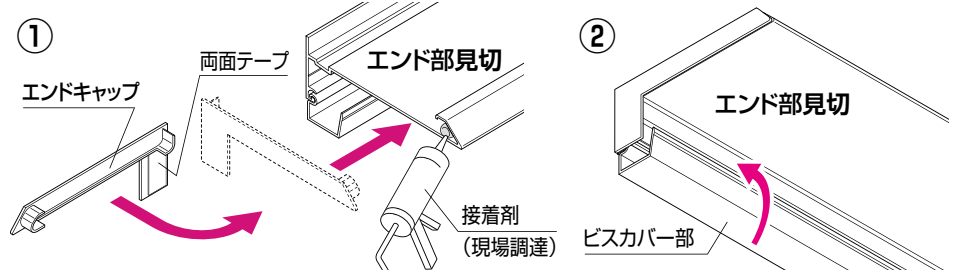
※施工後にビスカバー部を外す場合
カバー部は外れにくい設計になっていますが、調整のために外したい場合には、嵌合した隙間にハンマーヘラまたはマイナスドライバーを差し込み、下側へ下げると外れます。
このとき、ヘラ先端部側を養生テープ等でおおい見切本体にキズをつけないようにしてください。

壁側に押し込みながら下げると外れる



突き付け部・エンド部がある場合のエンドキャップ施工

- ①先に見切本体に接着剤と両面テープでエンドキャップを取付け、固定します。
- ②手順3、手順4の方法で本体をビス打ち固定、ビスカバー部をはめ込み固定します。



下がり壁等の納まりでお困りの際は、下記の連絡先までお問い合わせください。



フクビ化学工業株式会社

<https://www.fukuvi.co.jp>

本社/福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 北関東 千葉 東京 神奈川
新潟 北陸 静岡 名古屋 大阪 岡山 広島 福岡
鹿児島 沖縄